



# 令和8年度 洞峰学園二の宮小学校グランドデザイン



<b>本県教育目標</b> ○ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかう ○じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う ○郷土を愛し、協力しあう心を育てる	<b>洞峰学園教育目標</b> 夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成	つくば市の目指す学園学校像 みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園 ~自己実現できる学校・みんなが支え合い、みんなが生き生きした学校
	<b>学校教育目標</b> 互いの思いを大事に、協働し（関わり合い）高め合う児童の育成	
<b>目指す学校像</b> 「あなたの思い 自分 どちらも大事 笑顔あふれる学校」		<b>目指す教師像</b> ・自ら学び続け、挑戦を楽しむ教師 ・愛情をもち、児童に寄り添う教師 ・働きがいと幸せを実感できる教師
<b>学校経営の重点</b>	1 互いの思いを分かり合い、温もりある学年・学級づくり 2 問いから始まる探究的な学びの推進 3 家庭・地域と連携した安全安心な学校づくり 4 一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様性への指導の充実 5 教職員の資質向上と働き方改革の推進	
<b>組織目標</b>	1 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり 2 自他の思いを大事にする笑顔いっぱいの学年学級づくり 3 働きがいと幸せを実感できる教職員集団づくり	



## 研修テーマ

自分らしく学び、他者と協働することができる児童の育成  
 ~「みんないっしょ」から「自分にぴったり」へ!!!~

<b>自ら学ぶことを 楽しむ児童</b>	<b>互いの思いを大事に 関わり合う児童</b>	<b>最後まであきらめず やりぬく児童</b>												
<p style="text-align: center;"><b>キャッチフレーズ「に・の・み・や」で育む非認知能力</b></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">意欲・向上心</td> <td style="width: 30%;"><u>にこにこ</u></td> <td style="width: 40%;">○自分も友だちも、笑顔になれる！</td> </tr> <tr> <td>自信・自尊感情・楽観性</td> <td><u>のびのび</u></td> <td>○やりたいことができる！</td> </tr> <tr> <td>共感・社交・コミュニカ・協調</td> <td><u>みとめあい、みがきあい</u></td> <td>○自分と友だちのよさを生かして、協力できる！</td> </tr> <tr> <td>自制心・忍耐力・回復力</td> <td><u>やりぬく心 さいごまで</u></td> <td>○目標に向かって、やりぬける！</td> </tr> </table>			意欲・向上心	<u>にこにこ</u>	○自分も友だちも、笑顔になれる！	自信・自尊感情・楽観性	<u>のびのび</u>	○やりたいことができる！	共感・社交・コミュニカ・協調	<u>みとめあい、みがきあい</u>	○自分と友だちのよさを生かして、協力できる！	自制心・忍耐力・回復力	<u>やりぬく心 さいごまで</u>	○目標に向かって、やりぬける！
意欲・向上心	<u>にこにこ</u>	○自分も友だちも、笑顔になれる！												
自信・自尊感情・楽観性	<u>のびのび</u>	○やりたいことができる！												
共感・社交・コミュニカ・協調	<u>みとめあい、みがきあい</u>	○自分と友だちのよさを生かして、協力できる！												
自制心・忍耐力・回復力	<u>やりぬく心 さいごまで</u>	○目標に向かって、やりぬける！												

### 一人ひとりのニーズに応じた多様性への指導の充実

- 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実
- ボランティアと連携した日本語指導教室の充実
- 校内フリースクールの活用
- OSC、SSW、関係専門機関等との連携

### 学校・家庭・地域安全安心な学校づくり

- 保護者、ボランティア、ゲストティーチャー等の有効活用
- コミュニティ・スクール協議会を通じた協働活動の拡充
- 学校だより、学校ホームページ等による定期的な情報発信

### 教職員の資質向上と働き方改革の推進

- 教職員同士の対話（しゃべり場）の拡充による協働し、支え合う同僚性の構築
- 授業改善とニーズに応じた研修の充実による教職員の資質能力の向上
- 計画的な研修によるコンプライアンス意識の向上
- 持ち味を生かした学校運営参画による働きやすさと働きがいの向上
- 超過勤務時間 45 時間以内 月 2 回の定時退勤日  
 最終退校時刻の厳守 休憩時間の設定 等